

「未来をひらく」チーム高島



令和8年7月13日 校長 目野明弘

未来をひらく基礎力

【やさしく】「よさ」と「違い」を認め合う 【かしこく】自分なりに考え「納得」 【たくましく】「やってみよう」「もっとこうしたい」挑戦

着衣水泳（浮く・救助）7.8

万が一、水中に落ちてしまったときの安全についての学習と7月10日（金）のSUP体験に向けて、着衣水泳を行いました。

服を着たまま浮く練習とライフジャケットを着て浮く練習を行いました。その後、溺れている人を救助するためにプールサイドから水入りのペットボトルを投げて救助する練習を行いました。子どもたちは、ペットボトルを投げるのがなかなかうまくいかずに何回も練習をしていました。



水難事故防止について、次のことをご家庭でも話題にしていただけると幸いです。

- ・水に流されたら、**浮いて待つ**
- ・溺れている人をみつけても、**自らとびこまない**。（自ら飛び込んで溺れて事故に）
- ・溺れている人を見たら、**浮くもの（ペットボトルやランドセルなど）を投げる**。
助けを呼ぶ。（大人、消防署119、海上保安庁118、警察110）
「ういてまて」と励ます。
- ・危険な場所に行かない。（水の事故）



地震・津波 避難訓練7.9

7月9日1時間目に地震・津波避難訓練を行いました。地震・津波の場合には、しっかりと頭をまもり、避難できることが大切です。

訓練では、机の下に隠れ、その後、屋外に避難し、塩屋神社に避難することを確認しました。



避難の際には、児童はすばやく動き、短時間で避難することができました。

また、避難するときには、上級生がそっと声をかける場面もあり、災害の場合の「自助」「共助」ができていることが素晴らしいと感じました。

災害はいつ起こるかわかりません。もしものときは、しっかりと情報収集を行い、身を守る行動をとれるようになってほしいと思います。

SUP 体験 7.10

7月10日（金）には、PTA 主催で、講師に古川さんを招き、SUP 体験を行いました。

児童は、水の危険性を学び、その後、SUP 体験を行いました。初めはうまくいかないようでしたが、慣れて、楽しみました。

保護者の皆様には、朝から海岸清掃、SUP の準備・片付け、ありがとうございました。

